



## 小さな積み重ねが大きな一歩に

校長 泉崎 春海

先日、校長室に掲示してある各学級の写真を見ていました。どのクラスの子供も、ちょっぴり照れくさそうな表情で、写真に写っています。まだ新しい学年に進級したばかりの緊張感もただよっています。でも、写真を見て、なによりも気付くのは、その表情のかわいらしさ、幼さです。今、同じ子供たちの表情を見てみると、1年生から6年生まで、ずいぶん大人びてしっかりとした表情になっています。



【「6年生を送る会」演奏する6年生】

明日から弥生、3月。春ももう間近です。今年度も残りわずかになってきました。各学年とも、学習や生活のまとめの時期になっていますが、校内を回っているといろいろな子供たちの姿を目にします。

今春の入学式で、新しく入学してくる1年生に贈る合奏の練習を、一生懸命にしている1年生。お家から持ってきた写真や資料を基に、今までの自分の成長を振り返ってまとめをしている2年生。難しい算数の問題でも、自分でいろいろと考えて答えを出そうと頑張っている3年生。今年度、10歳になるのを記念して、自分たちで調べたいことを決めてまとめるなど、「10才を祝う会」の準備をしている4年生。5年生は、来年度は最高学年になるという自覚をもって、委員会やクラブの活動をしています。そして、最高学年の6年生は、間近に迫った卒業を前に、「6年生を送る会」では、素晴らしいリコーダーの演奏を披露してくれて、さすが最高学年というところを見せてくれました。

どの学年も、一年前の4月の姿を振り返ってみると、今とは違ってずいぶんあどけなかったり幼かったりしていました。その時の姿と今の姿を重ね合わせると、心も体もずいぶん大きく成長してきたなあと感じます。

子供たちを毎日見ていると、その成長はとても小さく、目にはとまらないかもしれませんが。けれども、子供たちは、一年間のうちに、様々な経験を重ねながら一步一步着実に成長してきたのだと、今、強く感じています。

この一年間、子供たちの成長のために、本校の教育活動に様々な形でご協力いただきました保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。